

さわやかな風が心地よく、木々の緑がみずみずしく輝く今日の良き日に、私たち三十六名は、この伝統ある階上中学校に入学できることに大きな喜びを感じています。新型コロナウイルスの影響が全国的に広がる中、「入学式は行われるのだろうか」「中学校生活のスタートをしっかりと迎えられるのだろうか」と不安でいっぱいでしたが、感染拡大防止の対策を十分にとっていたいただき、このような立派な入学式を迎えることができたことに大変感謝いたします。

私たちは小学校で、「かしこく、やさしく、たくましく」の教育目標のもと、日々の生活や学習、そして行事などを通して、多くのことを学んできました。階上中学校区志教育実践発表会では、地域の方々のご協力をいただきながら再認識した階上地区の自然の豊かさや素晴らしさについてグループごとにまとめ上げ、「つなぐ、むすぶ、つたえる」をテーマに、発表することができました。野外活動や学習旅行などでは、みんなで協力し合いながら様々な活動に取り組み、団結力をより高めることができました。これから始まる中学校生活でも、小学校で学んできたことを生かして、仲間とともに、様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

いろいろな面で小学校とは違う中学校生活は、楽しみでもあり、正直不安な気持ちもあります。学習面では教えていただく先生が教科ごとに代わり、内容も難しくなりますが、毎日こつこつと学習に取り組みたいと思います。また、中学校では、小学校ではなかった部活動が始まります。昨年見学させていただいたとき、先輩方が熱心に練習に取り組んでいる姿を見て、「自分も早くやってみたい」という期待が高まりました。勉強と部活の両立は大変だとは思いますが、先輩方をお手本に、時間を有効に使って、一步一步着実に力をつけていきたいと思っています。

階上中学校では、「あいさつ、エール、防災学習」という三大伝統が受け継がれていると聞いています。特にエールは、昨年の運動会で初めて目の当たりにし、その迫力にとっても驚いたのと同じ時に、先輩方の懸命な姿にとっても感動したことを覚えています。私たちも、人の心を打つような、気持ちのこもったエールを届けられるよう、先輩方に教えていただきながら、しっかりと覚えたいと思います。

私たちが、今日という日を迎えることができたのは、家族や地域の皆様など、たくさんの支えがあったからこそです。「当たり前が当たり前ではない」ということを、日々実感している今、感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。校長先生、先生方、先輩のみなさん、ご指導よろしく願います。

伝統ある階上中学校の生徒として、自覚と責任をもち、実りある中学校生活を送ることができるよう努力し続けることをお約束し、新入生代表のことばといたします。

令和二年 六月五日

新入生代表 畠山 隼輔